

## <訂正版>

※P196の「履修上の注意」の項目を除く下線部分が訂正箇所です。

# 共通彫塑研究室（彫刻・立体造形）

## 研究室沿革

昭和37（1962）年に設置された本学造形学部は、当初「美術学科」と「産業デザイン学科」の2学科で構成され、各学科に、日本画・油絵・彫刻の3専攻と、商業デザイン・工芸工業デザイン・芸能デザインの3専攻、計6専攻が置かれました。

学部設置時より、全6専攻の開設科目には、彫刻専攻研究室開設の「彫塑」科目が必修科目として置かれ、昭和39（1964）年には、共通基礎として学科専攻横断的カリキュラムに位置づけられました。彫刻専攻研究室に所属する教員は、彫刻専攻学生の実技科目を担当すると同時に、これら「彫塑」科目全てを、分担制やローテーション制により担当しました。

昭和48（1973）年、彫刻専攻研究室において協議を行い、同研究室が開設・担当する授業科目のうち、彫刻専攻以外の学生を対象とする「彫塑」（及び、実技専修科、短大美術科・短大デザイン科の「彫塑」）科目の一部分離担当が開始されます。

その後も、二つに分かれた研究室は相互に、2つの彫刻領域研究室が開設する授業科目を担当し、緩やかな交流を断続的に行いましたが、紆余曲折を経て、共通彫塑研究室は、美術系デザイン系諸学科における必修専門実技科目（学科別専門I類科目）「彫塑」を担当し、主に実材を使用した独自の立体造形教育を行うことになりました。

平成9（1997）年には、本学をとりまく新たな社会状況の中、大学の「彫刻教育の新教育研究体制の実施について」の検討要請により、共通彫塑研究室と彫刻学科研究室は分離後初めての協議を持ちました。結果、ほぼ4半世紀ぶりに彫刻領域を専門とする2つの研究室の授業相互担当が再開され、以降、彫刻学科研究室開設の学科別科目I類「彫刻」の一部を担当しています。また、石彫場（石彫工房）の全面改修を共通彫塑研究室のもとで行い現在に至っています。

平成11（1999）年には、所属学科を問わず自由に選択できる実技科目（「共通彫塑造形実習」）を本学で最初に開設しました。同時に、石彫場を、彫刻学科の学部・大学院生に加え、全11学科・大学院全専攻学生の共通工房として開放しました。平成13年（2001年）以降は、「共通彫塑造形実習」を、早稲田大学との単位互換授業の実技科目として、本学で初めて他大学に向けても開きました。

平成15（2003）年の全学的カリキュラム改革にともない、造形総合科目I類「彫刻I」（彫刻学科を除く10学科専攻学生の必修実技科目）の大半と、全11学科対象の造形総合科目II類「彫刻」（選択必修／自由選択）を担当するとともに、彫刻学科研究室開設の学科別科目I類「彫刻」の一部を担当しています。

また、平成25（2013）年度からは、造形総合科目I類「彫刻II」（選択必修）を開設しています。

平成31（2019）年の造形構想学部新設に連動して、クリエイティブイノベーション学科と映像学科開設の造形構想基盤科目（必修）「造形実習II（彫刻）」を担当、造形総合科目I類「彫刻I」は彫刻学科研究室との協議の結果、造形学部10学科のうち8学科を担当しています。

また、令和2（2020）年から造形総合科目II類「彫刻」は造形学部と造形構想学部の全学科を対象としています。

## 教育の理念

造形を学ぶ者にとって、「自己の外側の世界」に真摯に向き合う事の大切さは、あらためて言うまでもありません。「自己を取り巻く世界をどう認識するか」ということは、言い換えれば「自己を見据える」ことに他なりません。立体造形や彫刻と呼ばれる美術領域における「自己の外側の世界」とは、「自己の存在する世界」、「材料の存在する世界」、「作品の存在する世界」でもあります。

美術表現はもとより、私たちを取り巻く状況や世界を飛び交う情報は、日夜劇的に変化し、拡大し続けています。現代の社会では、自己をじっくり見つめることは、益々困難になりつつあると言えます。

「物」の世界である立体領域の造形美術では、たとえ作品の構想や思想が、自己の脳裡で確実に成立したと感じ、自分の作品にまつわる言葉を駆使し、理屈や理論として明快な文脈を構築できたとしても、それが現実と関係づけられない限り、空疎なものでしかありません。

業を必修として造形学部全 10 学科 1 年生の選択が可能です。この科目を 2 科目開設しています。

## 造形学部と造形構想学部の全学科全専攻学生と大学院生に関する開設科目

全学科専攻 1・2・3・4 年生（および大学院全専攻学生）

／造形総合科目Ⅱ類「彫刻 a」〔選択必修 / 自由選択〕

全学科専攻 3・4 年生（および大学院全専攻学生）

／造形総合科目Ⅱ類「彫刻 s」、「彫刻 c」、「彫刻 d」〔選択必修 / 自由選択〕

※造形総合科目Ⅱ類は、原則として履修すべき学年の指定は行っておらず、自学科の必修科目や文化総合科目と重複しない時期、または時間帯に履修することができます。

### 学科別科目Ⅰ類〔必修〕

彫刻学科 2 年生

／「彫刻 F」

実材実習（金属・石彫）

石彫選択（学科定員 31 名のうち半数が選択）

／「彫刻 G」

実材実習（金属・木彫）

木彫選択（学科定員 31 名のうち半数が選択）

### 造形構想基盤科目〔必修〕

クリエイティブイノベーション学科 1 年生

／「造形実習Ⅱ（彫刻）」

（学科定員 76 名）

映像学科 1 年生

／「造形実習Ⅱ（彫刻）」

（学科定員 76 名）

### 各開設・担当科目の教育目標

#### ○造形総合科目Ⅰ類〔必修〕

##### 「彫刻Ⅰ」

必修授業においては、日常私たちの身近にある物をモチーフとして選んでいます。「教育の理念」で述べた「自己の外側の世界」と言う時、ここでは漠然と外の世界をイメージするのではなく、「具体的な物」をモチーフとして置いています。シンプルでオーソドックスな課題設定を心がけています。

対象を見て制作するというのが昨今では、とすれば手垢の付いたありきたりな美術表現、安易な描写力養成法、造形美術の初歩的訓練と誤解され易い状況があります。しかし、この授業では、学生みなさんに思考を伴った観察、すなわち「見ること」そのものに重点を置いて欲しいと考えています。各自、自分の見ている物をどのように認識するのか、それは結局自分がどのように対象を捉えるかに始まって、対象を捉える自己の在り方にまで溯ることになります。

この授業の意義は、見ることによって考えることを停止した手作業の体験や、手業（てわざ）の訓練ではありません。言いかえるなら、この授業における「作品」は、対象を見て把握したり、自分の作品を見て解釈し直したりした諸々の判断による二次的副産物です。より重要なのは、「『モチーフ』と『素材』と『自分』」という三つの関係の中で、試行錯誤を繰り返す制作プロセスそのものと言うことが出来ます。

この授業においては、いわゆる「描くための技術」としての狭義の「デッサン力」や小手先の技量は反古になります。これまで受験勉強において実技の訓練を重ねてきた学生も、全く経験の無い学生も、等しく同じ出発点から始めることになるでしょう。

普段何気なく見過ごしている「外側の世界」にある「些細な物」を徹底的に観察し、制作を通して、一人一人が言葉では言い表すことが出来ない造形美術の手応えを実感して欲しいと考えています。

特質がモチーフ観察と材料とのやり取りの中から湧出して来る事実と向き合って欲しいと考えています。同時にそれぞれの材料に関する基本的技術を修得する機会とします。

#### ○造形構想基盤科目〔必修〕

〔造形実習Ⅱ（彫刻）〕（クリエイティブイノベーション学科1年生）

〔造形実習Ⅱ（彫刻）〕（映像学科1年生）

この授業では、日常の身近なものをモチーフに立体制作します。

対象を見て制作するというのが昨今では、ありきたりな美術表現、安易な描写力養成法、造形美術の初歩的訓練と誤解されやすい状況があります。しかし、この授業では、学生のみなさんに思考を伴った観察、すなわち「見ること」そのものに重点を置いて欲しいと考えます。

授業最終日に向かって作品を仕上げるという意識ではなく、自分の見ているものと制作している物の違いを出来るだけ無くしていくよう心がけてください。デッサンや立体制作することで、ただ対象を眺めているよりも観察視点が広がり、使用する素材によって考察の観点が変化したり深まったりすることを体験してください。

モチーフの観察と制作を通して、日常生活の中で行っている「見る」という行為のあいまいさ、「見る」ことそのものについても考える契機としてください。言葉で紡ぎ出す世界の向こうに、あるいは普通名詞で区分できる概念の隙間に、広大な造形世界が広がっていること、そこには観察する対象とともに自分の視点観点が大きく関わっていることなどを実感してください。

#### 履修上の注意（本年度中の再履修、授業延長はありません）

共通彫塑研究室が担当する全ての授業（必修科目・選択必修科目）において、成績評価が「不可」（素点60点未満）、または「未受験」（受講しなかった場合）、もしくは、「対象外」（病気・怪我その他やむを得ない理由により、制作が途中で出来なくなった場合や、出席日数不足などで課題制作物が採点対象にならない）となった場合も、授業延長や作品再提出は、授業の性質上、また施設設備の都合上行っていません。従って、当該授業の開設期間終了後に成績評価の保留はなく、本年度中の単位認定は行いませんので注意してください。

再履修となった学生は、次年度の夏季休業期間中に開設する『夏期集中実技授業』にて再履修してください。再履修学生は、翌年の夏休みの計画などに注意してください。詳細日程は、翌年の6月末頃、所属学科研究室などを通して再履修者に連絡します。

8月	9月				10月			11月			12月			2024年1月~3月						
8/1 ~ 9/3	4 ~ 9	11 ~ 16	18 ~ 23	25 ~ 30	2 ~ 7	9 ~ 14	16 ~ 21	23 ~ 28	30 ~ 4	6 ~ 11	13 ~ 18	20 ~ 25	27 ~ 2	4 ~ 9	11 ~ 16	18 ~ 23	12/25 ~ 1/6	1/8 ~ 3/31		
期	4期				5期			6期			7期									
オンライン 夏休業市ヶ谷7/31~9/2	17 後期授業開始 9/4	18	19	20	21	22	23	芸術祭活動 10/23~11/2			24	25	26	27	28	29 後期授業終了 (文化総合科目) 12/16	30 後期補講・ 後期定期試験週間 12/18~23	31 卒業修了制作展 (鷹の台キャンパス) 1/12~1/15	32 卒業修了制作展 (市ヶ谷キャンパス) 1/19~2/21	卒業式 3/15
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>○造形総合I類 必修 彫刻I</p> <p><b>基礎デ1年</b> 73名〔必修〕</p> <p>粘土・石膏 〈人体モデル(頭部)〉</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>●造形総合I類 選択必修</p> <p><b>彫刻II</b> 40名</p> <p>粘土・石膏 〈人体モデル(頭部)〉</p> <p>●造形総合I類 選択必修</p> <p><b>彫刻II</b> 40名</p> <p>木材 〈ホオズキ〉</p> </div> </div>																				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>○造形総合I類 必修 彫刻I</p> <p><b>空デ1年</b> 108名のうち 約88名</p> <p>木材 〈煮干しまたは 干し唐辛子〉</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>□造形構想基盤科目 必修</p> <p><b>造形実習 II</b> (彫刻)</p> <p><b>映像1年</b> 76名</p> <p>粘土・石膏 〈人体モデル(頭部)〉</p> </div> </div>																				
<p>●造形総合II類 選択必修/自由選択</p> <p><b>彫刻a</b> 8名 素描〈人体モデル(ヌード)〉</p>																				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>◎学科別科目I類 必修 彫刻F [石彫選択]</p> <p><b>彫刻2年</b> 31名の半数</p> <p>石材 〈人体モデル(頭部)〉</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>●造形総合II類 選択必修/自由選択</p> <p><b>彫刻s</b> 5名 石材〈人体モデル(頭部)〉</p> </div> </div>																				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>□造形構想基盤科目 必修</p> <p><b>造形実習II</b> (彫刻)</p> <p><b>CI 1年</b> 76名</p> <p>木材 〈靴〉</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>◎学科別科目I類 必修 彫刻G [木彫選択]</p> <p><b>彫刻2年</b> 31名の半数</p> <p>木材 〈人体モデル(胸像)〉</p> </div> </div>																				
<p>●造形総合II類 選択必修/自由選択</p> <p><b>彫刻c</b> 5名 木材〈人体モデル(頭部)〉</p>																				
<p>●造形総合II類 選択必修/自由選択</p> <p><b>彫刻d</b> 5名 鉄〈植物〉</p>																				

科目	単位
<p>○印は 造形総合科目I類 〔必修〕</p> <p>●印は 造形総合科目I類 〔選択必修〕</p> <p>◎印は 学科別科目I類 〔必修〕</p> <p>●印は 造形総合科目II類 〔自由選択/選択必修〕</p> <p>□印は 造形構想基盤科目 〔必修〕</p>	

● 祭典 10/27~10/29

● 卒制展 1/12~1/15 (鷹の台キャンパス)  
● 卒制展 1/19~1/21 (市ヶ谷キャンパス)